

ご来場ありがとう
ございました！



第36回 横浜開港祭に参加しました！



平成29年6月2日(金)、3日(土)「横浜開港祭」が横浜市臨港パーク他で開催されました。本イベントは「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマの下、横浜市が市民への啓発活動として毎年開催しているものです。今年で36回目の開催となります。

京浜港湾、千葉港湾、東京湾口航路事務所からは港湾及び海洋環境整備に関する広報活動の一環として3事務所スタッフ総勢約20名のご協力の下、「たかしま」による横浜港内見学会と展示ブースに広報パネルや「べいくりん」「南本牧 MC-4 鋼板セル」模型を展示し、港湾整備事業等の重要性や事務所の様々な活動の広報を行いました。また、千葉港湾事務所の「べいくりん」と東京湾口航路事務所の「うらなみ」が官公庁艇パレードに参加しました。

「たかしま」の横浜港乗船会には開港祭親善大使の生田さん他、合計約180名の市民が乗船しました。展示ブースはキッズ向けの展示を強化し、港で働く乗り物の模型を展示。また、べいくりん で回収した一際大きなテレビに目を止めて行く方も多く、ブースには小さなお子様からご高齢の方まで、幅広い世代で昨年度を上回る合計500名以上が訪れ大盛況に終わりました。「船上見学により港の役割が改めて良くわかりました」「ベイブリッジを通過できない大型クルーズ船を何とか横浜の中心部に！」といった市民の方々の意見を頂きました。

2日間を通じて、多くの市民の方々に港湾整備事業等の重要性を理解していただくことが出来、またスタッフとして参加した職員の「広報スキル向上」の場としても大変有意義な機会となりました。



(大盛況の展示ブース前)



(「たかしま」横浜港内見学)



(官庁船パレード「うらなみ」)



(官庁船パレード「べいくりん」)

